

美術館休館中の主な取組について

平成 29 年 8 月 2 日

滋賀県文化振興課新生美術館整備室

県立近代美術館は整備工事の実施に伴い平成 29 年 4 月より約 3 年間の休館に入っているが、平成 32 年 3 月のオープンに向けて、新たな美術館に対する県民の期待感や参加意識の醸成を図るとともに、今後の集客につなげるため、「みんなで創る美術館プロジェクト」として休館中も以下のとおり取組を行っている。

<子どもや多くの県民がアートの魅力に出会う取組>

①『学校出前授業プログラム』

小・中学校、特別支援教育学校を対象に、美術館職員が授業の中でクイズやゲーム等を通じてアートの楽しみ方や魅力を知る講座を行う。

(平成 29 年度 60 校で実施予定)



②『美術館地域出前プログラム』

地域の公民館、保育園、自治会、子ども会などの希望に応じて、美術館職員が県内各地で出前講座やワークショップを行う。

(平成 29 年度 30 か所で実施予定)

③新生美術館見本市『美の糸ロ-アートにどぼん!』

美術館や「美の滋賀」の魅力を五感で楽しめるワークショップ・フェスティバルを、県内の団体や施設等の協力を得て開催。美術館休館中は県内を巡回する。

(平成 29 年度 11 月 3 日に成安造形大学で開催)



<美術館のコレクションを活かした取組>

④『美術館移動展示』

身近な場所で美術館の優れたコレクションに気軽に出会い、魅力を知っていただける展示を、休館中に県内各地で開催する。

(平成 29 年度 10 月～11 月に成安造形大学で現代美術の展覧会を開催)

<文化ツーリズムの提案やモデルを開発する取組>

⑤『美の滋賀探訪ツアー』

「美の滋賀」の拠点や入口となる美術館をめざして、県内各地の「美の滋賀」の現地を訪れ、体験できるツアーを実施。過去にアール・ブリュットの展覧会と福祉施設の工房を訪れるツアーや、「神と仏の美」に出会うツアー等を実施。

(平成 29 年度 6 回実施予定)

